昭和48年7月5日
広報あじす お知らせ版　毎月5日 毎月20日　発行
山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
電話 1番・〒754—12
印刷 阿知須砂郷よしの印刷

広報あじす

No.260

町の住民登録人口
(48年6月30日現在)　前月比
世帯　2,040世帯　0
人口　8.120人　−3
(男3.816人　女4.304人)
(国勢調査昭和45年10月1日)
世帯　2.008世帯
人口　8.035人
男3.730人　女4.305人

衛生と健康と安全と

夏を考える

梅雨あけと共に本格的な夏の訪れです。夏は衛生、健康面で管理のむずかしい時です。また、自然を求めて海や山に足をのばし事故にあうこともしばしばです。自動車の居眠り運転や交通事故を起すこともあります。こうしたことから七月は一日の「国民安全の日」にはじまって夏期食品一斉取締り、愛の血液助け合い運動など健康を守るための運動がいろいろ進められます。また「社会を明るくする運動」も今月いっぱいくりひろげられます。衛生、健康など夏を迎えていま一度、思いを新たにするのも大切ではないでしょうか。

みんなの写真

—婦人会がごみ溜めを清掃—

「みんなが気をつけて捨てよう」

夏場になるとごみ溜めにハエが発生したり、うじがわいたりして悪臭を放つようになりますが、これを防ごうと阿知須婦人会の会員が毎日、交替で清掃や消毒に当っています。

現在、阿知須校区にはごみ溜めが九つあり、これに各家庭のごみを持ち寄り、ここから焼却炉へ運んでいます。ところが、夏になると水分の多いごみがふえ、この中で腐りやすく、悪臭も発生します。

そこで婦人会では六月から九月まで、このごみ溜めの清掃奉仕をすることにしたわけですが、もう一つ、ごみの捨て方を一人一人にもっと考えて、もらおうというねらいがあります。

この奉仕は地区ごとに分担し、二人一組で交替でやっていますが、これまで、奉仕をした人たちからは「捨てる時に一人一人がもう少し気をつければ、中も周囲もきれいになるのに」「これまで無雑作に捨ててきたのを反省している」という声が聞かれます。

（写真はごみ溜めを掃除する婦人会員）

浄化をきれいに

点検清掃は専門業者へ

水洗便所の浄化槽はよく掃除されていますか、浄化槽はややもす

水に親しむ季節となりました。本町では近年水死者がありませんが、今年も犠牲者を出さないよう心掛けましょう。

町内で水泳してもよいと認められるところは千鳥が浜だけです。他は海岸も溜池も危険ですから、泳がないよう、泳がせないようにしましょう。

疲れたら泳がない

▽疲れているときや、身体の調子の悪いときは、絶対に泳がない

▽幼児、小学生の水泳などには、必ず年長者（水泳のできる人）がつきそって行くようにしましょう。

薬剤の保管は大丈夫ですか

あなたの家には農薬や殺虫剤はよく保管してありますか。六月二十一日には本町の幼児が、身近かにあった殺虫剤を過って飲み、中毒死する事故がありました。

夏には農薬や殺虫剤を多く使うため、とかく、身近かなところに置きがちです。そのため、他の飲料とより違えたり、身体にふれたりして、中毒を起したというような事故が、毎年、あちこちで聞かされます。

こうした事故のないよう、農薬や殺虫剤は目ごろ手にふれないようなところに、よく保管しておきましょう。使用済みのびんや袋も危ないように処分しましょう。

その他の注意としては

▽幼児、小学生の水泳などには、必ず年長者（水泳のできる人）がつきそって行くようにしましょう。

▽薬剤の保管は大丈夫ですか

▽殺虫剤は目ごろ手にふれないように

▽農薬や殺虫剤は目ごろ手にふれないように

（とじておくと便利です）

浄化槽はメーカー、型式によって機能が異り、点検清掃の時期がちがいます。しかし、点検は三カ月から六カ月に必ず一回以上行なうことになっています。保健所では消毒薬は、少なくとも週に一回補充するように指導しています。

点検、清掃は資格をもった専門業者に限られています。

〝献血は人のためならず〟

林さんが二十八回で町内のトップ

『献血は人のためならず』……ってっています。そのために家族や、親族、知人とたがいにねまわって血液の提供をお願いしなければならず、しかも、採血する場所まで出かけて行くために、旅費、日当、謝礼など払うようなこともあって精神的にも金銭的にも負担が大きくなるのが通例だからです。

こうしたことを防ぐために、日ごろから献血し、血液を預けておくのが得策というわけです。

本町には、三カ月おきに日赤の献血車が訪れてみなさんの善意による血液（一回二百CC）を受けています。

献血者には手帳が手渡され、献血量をその都度記入しています。

七月は十四日（土）に献血車が訪れ、午前九時から正午まで採血します。その際、医師が血圧を測定したり、健康の状態を聞いて、採血してもよいかどうかを判断します。また、血液の比重も検査しますので貧血と判った人からは採血しません。したがって献血したために健康を害するようなことは殆んどないといわれています。

なお本町の献血回数ベスト5は次のとおりです。

①林　幸年（赤迫）　二八回
②岡村久寿男（築地）　二五
③大田　敏明（仙在）　一九
砂村　好恵（砂二）　一九
西村　哲（井関）　一九

女子では益弘喜久子さん（旦北）が十七回でナンバー・ワンです。

また町内の人で県知事の感謝状（献血五回以上）を受けた人は五十二名、日本赤十字社の名誉会員になった人（十回以上）は十七名です。

人口上向く

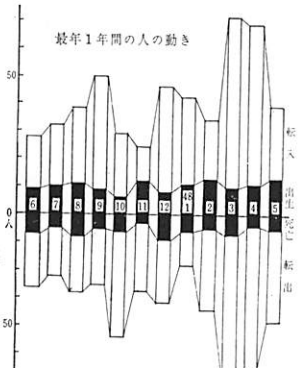
8.120人は25カ月ぶり

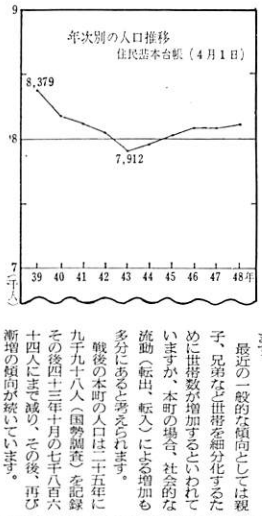
住民基本台帳にに登録されている本町の人口が四月末以来、八千百二十人台を保っています。

この数字は一昨年二月の八千一百二十九人以来二十五カ月ぶりのことです。

最近、物価指数がウナギ昇りとあって一般の人々には数字の上昇はいささかアレルギー現象を起していますが、住民人口のふえているのは、本町にとってうれしい現象といえましょう。

本町の人口のふえている大きな理由として、





①死亡に対して出生が多いこと

②転出が少なくなっていることがあげられます。

ことに入って五月末までの出生と死亡の数は、

出生　五六人　死亡　二七人

となっており、約二対一の割合で出生が多くなっています。

また、転入、転出をみると、一月以降

転入　一九七　転出　一七九

となっています。

毎月、三月、四月は転出が多いのですが、ことしはいずれも転入者数が上回っています。しかも、世帯数もとび二十世帯ふえています。

最近の一般的な傾向としては親子、兄弟など世帯を細分化するために世帯数が増加するといわれていますが、本町の場合、社会的な流動（転出、転入）による増加も多分にあると考えられます。

戦後の本町の人口は二十五年に九千九十八人（国勢調査）を記録その後四十三年十月の七千八百六十四人に三千減り、その後、再び漸増の傾向が続いています。

お知らせ

あなたのアイデア拝借

子ども会旗の図案

町子連が一般募集

町子ども会育成連絡協議会では町子ども会会旗の図案を、町民のみなさんから募集しています。

この会旗は、子どもたちの健全育成をはかるため本町の子ども会のシンボルとして使うことにしています。

▽応募資格　町内在住者なら誰でも結構

▽規　格　官製ハガキ、または同じ大きさの用紙の上半分に図案、下半分に簡単な説明を記入のこと。「阿知須町子ども会」という文字を必ず入れること

▽色　彩　三色以内

▽応募枚数　制限なし

▽応募期限　七月二十一日まで

教育委員会へ

なお、採用した方については記念品、ご応募いただいた方には粗品を差し上げます。

自然と親しみましょう

地籍図を見せます

井関川以南の阿知須校区

地籍調査のため去年の十月からことしの三月までに測量した地域（井関川以南の阿知須小学校区）の地籍図ができました。このため町ではこの測量による境界など間違いはないかこの地域の土地所有者に地籍図を見ていただきます。

期日は七月九日から四日まで平日午前八時半から午後五時まで土曜日は午前中です。場所は役場産業課。ご覧になりたい方は印鑑をご持参ねがいます。

減反の計画変更は20日までに届出を

米の生産調整のために減反計画を町へお出いただきましたが、その後計画変更され、届け出のすんでない方は、七月二十日までに役場産業課へご連絡ください。届けがあったものだけが減反の対象になります。

ママ勉強しようよ

幼児学級へどうぞ

町教育委員会では、幼児学級の学級生を募集しています。

この学級は、心身の発育上もっとも重要な時期にある幼児をお持ちのおかあさん方に、家庭で適切な教育をしていただくための講座です。

受講希望者は九日までに町教育委員会へお申込みください。電話でも結構です（有線二二五番）

七月は十二日

心配ごと交通事故相談

町社会福祉協議会では、生活、家事、人権、児童、職業に心配ごとのある人のために・心配ごと無料相談所・を七月十二日役場会議室で開設します。

また、これにあわせて・交通事故相談所・も開設しますのでご利用ください。

児童相談も

中央児童相談所と町では、七月十二日午前十時から午後三時まで役場で児童巡回相談を開き、広く一般家庭からの相談（健全育成相談）に応じます。

子どもの教育、しつけ、特殊児童の問題、養護・教護などについて県児童相談所の専門官が指導することになっています。

相談を希望される方は、児童と一緒にお出かけください。

7月の行事予定

6日　先天性関節脱臼検診（後12時半）
9日　地籍図の仮閲覧（14日まで）
　婦人学級（後1時）「家庭の応急手当」について実技等指導・日本赤十字社山口支部主査田中了氏
10日　井関家庭教育学級（後1時・井小）
　乳児検診（後1時〜3時）
12日　心配ごと・交通事故相談（前10時〜後3時）
　巡回児童相談（前10時〜後3時）
13日　町議会、青年文化教室（後7時半）「人生の目標」について益富嘉男氏
14日　献血（前10時〜正午）
15日　町内野球大会（前7時半・阿中グランド）
17日　幼児学級開講式（後1時半）
20日　老人大学（後1時半）「体の変化と病気」について共立病院院長三好正之氏
〔会場記入のないものは役場〕

たばこは町内で

井関川をきれいにする運動の一環として町内有志の善意により約7万匹の鯉が井関川に放流されました。可愛いがってください。

自転車競技に出場

西田 直行（砂郷2）

（小郡交通安全協会主催の自転車の安全競技大会に出場し、団体で二位、個人で四位、本町の最上位だった）

○小郡、秋穂、二島井関それに阿知須の五校から八チームが出ました。練習は二週間しました。

○競技は二つのコースがありました。Aコースは踏切や横断歩道があり、それを正しく進むのです。Bコースは幅が三十センチぐらいの板の上を通ったり、たくさん並んだピンの間をくぐり抜けたりするのがありました。一定の時間より遅く進む「おそ乗り競技」もありました。ぼくは二百点満点のうち百七十五点でした。停止するときの信号の仕方が悪かったのです。

◉動作するときはいちいち手信号をしなければいけません。右へ曲る時は右手を横に出す。左へ曲る時は右手を横に出して、ひじから先を上に向けるのです。この練習をするまではあまり手信号をしませんでした。競技会に出ることになってからは信号を正しくしなければいけないと思うようになりました。発車するときは右に曲るときと同じ信号、停るときは手を斜め下に出すのです。今では自転車に乗っている人がみんな気にかかります。大人は自転車に乗るときあまり手信号をしません。これからはぼくが手本になりたいと思います。

（阿知須小学校六年生）

安全運転の練習をする小学生（阿小で）

生活の中に音楽を

岡田美智子（北祝）

○KRY山口放送のテレビ・ウイークエンド・スタジオ"に出演した感じですか。大変勉強になりました。スタジオを見るのがはじめて、それに、生放送したから、みんなワワワワビクビクといったようすでした。

○十六月二百に役場で初演奏会を開いたのですが、それが、ある人の紹介で出演となったわけです。グループの結成は昨年の八月ですそれまでは青年団員を中心とした『山びこの会』というコーラスグループが二年ばかり続いていましたが、これに楽器を加えた音楽グループにしようということで再出発したのです。コーラスは全国青年大会（四十三年）のコーラスの部に出場したときの指揮者徳本佳和さん（旧姓は林）を中心にして、もと『山びこの会』の会長伊谷昭忠さんら男子数人。女子は十二、三名といったところです。バンドは役場の中尾さんや塩谷さんマネージャーが青野さんというのが主な人たちです。会員総数約二十名です。

○『あじす101』というのはNHKのヤング向け番組『ステージ101』にあやかったのです。若さを誇りにしたいという願いも入っています。初演奏会には百八十余人の入場者があり、社会福祉のための募金箱を備えていました。千円札も一枚ありました。仁協月に感謝しています。これを機会に今後一層励みたいと思います。そしてみんなの生活の中に生きる音楽として普及していきたいと願っています。ご声援をお願いします。

（音楽グループ「あじす101」会長・二十二歳）

録音盤

学園だより

井関小のプール完成

これで三校全部

井関小学校の水泳プールがいよいよ完成、夏休みを待たずにオープンします。

このプールは校内の北側にあった古い校舎を解体、そのあとに建設したもので長さ二十五、幅十二・五メートルの六コース。そばに低学年用のプールもあり、これは長さ十六、幅五メートル。深さは六十～九十センチ。付属施設としては男女別の更衣室、便所、機械室などあり、循環式の浄水器を備えています。総工費は二千二百一十万円。規模は昨年完成した阿知須小学校のプールとほぼ同じです

井関小学校のプール完成で、町内の小中三校全部に水泳プールが備わったわけです。

健康優良児きまる

ことしの本町小学校の健康優良児がきまりました。

これは県教育委員会が毎年行なう選考会の各校代表に選ばれた生徒です。しかし、本町からはことしも県の選考会へ進むことはできませんでした。

各校の優良児は次のとおりです

▽井関小学校
田中　仁　身長　一四一・六
古谷純子　一四七・二

▽阿知須小学校
田中　一　一四九・三
徳本陽子　一五二・〇

中学一年が秋吉台で合宿

阿知須中学校一年生百九人は六月二十六日から二泊三日の日程で秋吉台の少年自然の家で合宿しました。

同校の一年生は毎年、学校の体育館で合宿していましたが、ことしは旅行もとりやめ秋吉台で規律正しい共同生活を体験したものです。

江田島に研修旅行

阿知須小学校PTAと後援会員百十人は六月三十日、広島県江田島の海上自衛隊幹部候補生学校と術科学校を見学しました。

その際、本町東区出身で幹部候補生学校の校長に相当）に転任となりました。

自転車は正しくじょうずに乗ろう

思いがけぬ大けがも 整備不良でスッテンコロリ

免許証のいらないマイカー。公害を起さず、健康にもつながる乗り物。それは自転車。いま自転車を見直すことが、重宝な乗り物として静かなブームにあるといわれています。

ところが、この自転車も案外、事故が多く交通災害共済の見舞金を受ける人の中にも自転車に乗っていて自損行為でケガをした人がこの四月からでも二人あります。

小郡交通安全協会では、こうした自転車事故を防ぐために、正しい乗り方、じょうずな乗り方を指導するために、競技会を開いて普及に当るほどです。阿知須、井関の両小学校も選手をきめて六月二十四日の競技会に参加しましたがこれを契機に自転車の交通事故を絶滅したいものです。

去年からとりしにかけて、自転車事故で交通災害共済の見舞金を受けた人の事例を拾ってみましょう。

▽自転車で走行中、バックミラーのねじがゆるみ、鎖が前輪にくい込んで急にストップ。そのため乗っていた男子中学生は転んで後頭部や顔面を強く打って、見舞金十五万円。

▽六十四歳の男子は前方から来た軽四輪車を避けようとして、急に自転車のハンドルを左にきったところ、倒れて負傷、見舞金三万円＝急ハンドルは事故のもと。

▽六十八歳の男子が坂道を下ったところで川の橋を渡ろうとして右へ折れたところ自転車が倒れ、小川に落ちて負傷、二万五千円の見舞金。

▽幼児を自転車に乗せた婦人。町道から県道に出ようとしたとき、一旦停車はしたがバランスを失い倒れかけた自転車の後輪に足をはさまれて通院三十八日のケガ。見舞金一万五千円。

自転車は安全な乗り物とはいえちょっとした不注意で思わぬ大ケガをすることもあります。「いつもよく整備をしておく」「急ハンドルをきらない」その他、かさをさしたり、二人乗りはしないことなど心掛けることが大切です。

青空駐車が多い！

十二月からは本町でも禁止

小郡署と町交通防災対策室がこのほど町内の道路を夜間、車庫代用（青空駐車）に使用している自動車を調べたところ、百台近くありました。

道路上の長時間駐車は、車や人の通行を妨げるばかりでなく、もし火事という時に、消防車の出動を遅らす原因にもなります。青空駐車については自動車保管場所に関する法の改正により、六月一日から市部は全部禁止されています

また町村部でも十二月一日から禁止されることになっていますので

今井梅一氏（六四歳、海荷＝旧海軍中将に相当）の特別のはからいで校内見学をしました。

今井氏は七月一日付で舞鶴海上自衛隊司令官（旧舞鶴鎮守府長官に相当）に転任となりました。

補学校（旧海軍兵学校）の校長

町内あれこれ

31人が加入

中小企業の退職金共済

中小企業退職金制度共済に加入している本町の事業所は五月現在で七事業所、三十一人です。

これは中小企業に働く人たちにも適正な退職金を支払おうということで山口県が設けた制度です。

在職中に掛金をおさめておくと規定にしたがって、退職金が受けられるわけで、これは事業所単位で入ることになっています。

県では従業員の福祉増進のために事業主に加入を呼びかけています。

若山産業は三位に

勤労青少年ソフトボール

山口県主催の県中小企業勤労青少年スポーツ大会県中部地区大会はこのほど防府市で開かれました

中小企業に働く青少年の福祉対策の一つとして、ことしから開かれるようになったもので、山口、防府、佐波、吉敷、美祢の各郡市から男子ソフトボール、女子バレーボールにそれぞれ五チームが出場しました。

本町からは若山産業合板工場チームが出場、三位となりました。

善意はここに

〔社会福祉協議会へ〕

▽兼田裕真さん（赤追）は現金を拾得、警察に届けていたが落し主が判り謝礼金三千円を。

▽旦北部落は道路用地代八千五十円を。

▽あじす101は軽音楽祭で募金したお金四千二百九十三円を寄付（町へ）

▽埼玉県熊飾郡古川町字中道下古川団地四ノ八ノ三〇一中野泰司さん（本町須区出身）は二千円。

防府市上天神町七の一五の三天谷節子さん（元阿知須町立保育園主任保母）は一千円を広報紙資料として町へ。

役場の窓

◉六月二十五日夜から二十七日明けにかけての雨量はことし最高を記録。本町でも百三十三ミリにのぼりました。

このために二十六日は職員は非常体制に入り深夜まで河川や水路、道路をパトロール、危険個所を補強したり、水路の管理をしたりしました。それにしても、全職員が感ずるのは、井堰の管理をはじめとして、個人や、それによって利益を受ける人たちが当然管理しなければならないところでも、やる人が少なくなっているということ

誰かがやってくれるだろうという甘えに加えて、近所の人との連帯感が薄れていることが、そうした事にもつながっているように見受けられます。美しい人情がこうしたところにも消えていくようにしているのがさびしい思いです。

それにつけても、もうすぐ盆踊りの季節。本町に伝わる「いろは口説き」はこうした現在の世相の教訓として伝承されてきたように思えるのです。

へいとけなき代は愛して通せ
老はうやまい無礼をするな
腹がたつとも立つ願するな
にくみ受けるも我が心から
ほめてくらおうと高慢するな
へだてないとせ世をうらみるな
となり近所といろんするな
近い中をばた垣を越して

（後略）

慶弔録

出生（おすこやかに）

父	続柄	子の名	月日	部落
上野勝幸	長男	和也	5.30	繩南
兼重隆文	長女	紀子	6.28	岡
中野三男	長女	美鈴	5.25	繩南
坂野哲雄	長男	善夫	5.23	南祝
松本啓二	長男	直行	5.30	岡
水本宏伸	二男	伸次	6.1	井関
鈴山健太郎	二男	将	6.1	岡
久保田睦男	二男	凱	6.2	引野
土江　博	長女	魅美	6.15	沖の原
末岡鎮夫	長女	洋子	6.19	浜

婚姻（おしあわせに）

古谷　繁	博子（岡藤）	防府市切畑
市村安民	下関市吉見	
三枝子（渡西）	寺河内	
田村教司	中村	
菊枝（藤岡）	美祢郡秋芳町	
杉谷健二郎（渡辺）山口市矢原		
初恵	岩前	
光井　彰	宇部市小野	
みち子（松崎）浜表		

死亡（ご冥福をお祈りします）

氏名	死亡年月日	年令	部落
中村園子	6.12	53	砂三
松本浩一	6.21	1	浜表
徳永サタ子	6.29	51	岩西前
春日信治	6.30	45	繩南

田中鑑明　美祢郡美東町
タミ子（上野）　岩辻
宇津恭敏　河内
満寿美（高田）　河内
武田清美　小野田市西高泊
あさ子（三浦）　恵比須
上野　勝　井関
純子（相原）　島根県大田市
松井憲一　小東
美智子（大場）　東京都中野区
福本和美　井関
美知子（山岸）　北九州市小倉区
沖の原
美智子（十川）
広島県竹原市
山口市中尾
孔子（田辺）　岩西

町民文芸

第50回阿知須短歌会詠草

北祝　部坂　秩子

春日さす池の遊くにただよふは掌ほどの小鴨らの群

砂一　松代　二郎

松の芯芽延びものびたり尺余まで空に向かひて一直線に

砂二　渡辺　宮子

晴間にあがき出でしをひきこみてしばし覚めをれば蚊の羽音する

浜　石田サタ子

夕暮るる刈田に藁をまく夫の足型残して我を追ひ抜く

岩上　上重　朝子

半歳の曾孫淳子ちゃん重たくてころりと起きて我の可愛ゆき

寺河内　兼重　きぬ

事故にて駄目になり車舎が孫は朝夕寝念にさすりて居りぬ

浜　正司ウメノ

七十三才となりて登りし方便山の頂きに立ちて疲れ忘れぬ

飛石　砂村ヤス子

義妹は芍薬生けしん壇に父の命日よと菓子供へをり

岩西　中本　幸枝

西福寺山門のみどり風すがし春供養のかねの石段に聞く

岩西　中本　満枝

我が庭に今年も白百合咲き初めぬ亡父を想ひて懐し見る

砂二　橋本　淑子

腹痛に耐へ居る祖母に付き添ひし狭き病室に夕闇迫る

西条　原田　双恵

御管絃の船よりあがて神輿小橋に立ちて母偲びつつ見る

砂三　藤永ミツノ

白浜の眼下に見て太平洋波しずかにて若布ゆれをる

次回は七月二十一日（土）午後八時兼重きぬさんで。詠草締切り十八日